

けんちゅうwith!



2023.12.19 第25号

公民館訪問、お世話になっています

訪問させていただいた公民館の皆様には、お忙しい中御準備を頂きありがとうございます。今回の「けんちゅう with!」では、今まで公民館訪問でお話いただいた中から、特色のある実践について御紹介してみたいと思います。

「ジュニアボランティア養成講座」等、西袋コミュニティセンターの実践

西袋コミュニティセンターの青少年対象の事業では、青少年がいろいろなことに挑戦し、友達や家族と仲良く協力し合い、学校生活に意欲的に取り組むことを目的にした一つの講座として、「ジュニアボランティア養成」を実践しています。主に、西袋地区の行事（スポーツ大会）や西袋コミュニティセンターで開催されるいろいろな教室の運営ボランティアとして参加し、様々なかたちのボランティア活動にチャレンジします。

今年度は、計8回を計画し、第1回目の開講式では「先輩からの講話」として、西袋中学校ジュニアボランティア養成講座受講生OGを講師に迎え、『自分の夢に向かって!』と題した講話を聞き、これからの活動に対しての士気を高めました。マラソン大会運営補助やイルミネーション装飾作業、教室運営のサポート等のボランティアに積極的に参加しました。

この事業は、ボランティア活動を通して、生徒がこれから成長する過程において、自分たちが住む町の地域づくりに向き合い、その中心的役割を担っていける人づくりを目指しています。

令和5年度 西袋コミュニティセンター

ジュニアボランティア養成講座

西袋地区の行事（スポーツ大会）や西袋コミュニティセンターで開催されるいろいろな教室の運営ボランティアとして参加してみませんか。学校では体験できないことにチャレンジし、新しい発見をしてみよう!

自分の得意できる活動で、2回以上の活動に参加してください。

募集中!

- 期 間 6月12日(月)～令和6年1月19日(金) 全8回
- 対 象 西袋中学校1年生～3年生
- 参加人数 30名程度
- 申込方法 6月2日(金)までに申込書を教員先生へ提出してください。

日 程	内 容	場 所
1 6月12日(月)	開講式・先輩からの講話	西袋中学校 (図書室)
2 7月25日(水)	生徒主体活動「ひかりフェスティバル」サポート	西袋コミュニティセンター
3 8月27日(日)	萩原堂川地区大食祭日曜朝のゴミ清掃	尾久山台1丁目公民館
4 9月30日(日)	西袋地区体育祭のサポート	西袋中学校
5 10月5日(金)	西袋駅メモリアルマラソン大会のサポート	西袋駅メモリアルマラソン大会会場
6 10月22日(日)	西袋地区スカウトボール大会のサポート	西袋3期体育館
7 12月10日(日)	西袋地区イルミネーション装飾作業のサポート	西袋コミュニティセンター
8 1月19日(金)	閉講式(修了証書授与式)	西袋中学校 (図書室)

※募集人数や日程については変更になる場合があります。その都度各担当者に連絡します。

<募集チラシ>

令和5年度中学生ジュニアボランティア養成講座

第1回 先輩からの講話

先輩からのメッセージ 自分の夢に向かって!

1 日 時 6月12日(月) 午後3時30分～

2 場 所 西袋中学校 (図書室)

3 講 師 南條 夕芽さん (西袋中学校OG・ジュニアボランティア養成講座受講生、須賀川市役所職員)

4 演 題 自分の夢に向かって!

申し込み用紙は表紙へ

<第1回目案内>



<装飾作業の様子をする生徒>

また、家庭教育の事業では、親子で体験できる活動を通して、親子のふれあいを深めるとともに、子育ての情報交換をしたり、参加者同士の交流を図ったりすることを目的にした講座「親子わくわくタイム」を開設しています。

その活動の一つに、市内企業の株式会社神田産業様と連携した工場見学がありました（神田産業は、段ボール製品の開発・製造販売しているメーカーです）。段ボールの製造工程や特性について親子で学び、実際に段ボールで作られた椅子や演台等も見て触れてきました。さらに、段ボールベッドの組立て方等にも触れ、段ボールの新たな可能性についても体験を通して学び、驚きと感動を参加者みんなで感じていました。親子で工場見学をすることで、親子共に知的好奇心を刺激される活動が特徴的です。

西袋地区は、市の組織改編に伴い、公民館からコミュニティセンターへと変更されましたが、今までの公民館業務と地域の特性を生かしたまちづくり拠点としての役割を、今まで以上に充実させようと尽力されています。



<担当者からの説明を受ける参加者>

第9回ビブリオバトル福島県大会(中学生・高校生)～熱い書評バトル～

11月25日(土)とうほう・みんなの文化センター(福島市)において、第9回ビブリオバトル福島県大会を開催しました。県内の地区予選を通過した高校生5名(うち中通り地区代表2名)と、予選・決勝を行う中学生15名が出場しました。5分間という時間の中で、「本の魅力を最大限伝える」すばらしい発表に会場の観戦者は引き込まれていました。まさに「本を通して人を知る 人を通して本を知る」大会となりました。

今回の大会でチャンプ本になった本を紹介します。

○中学生の部「アリス殺し」 ○高校生の部「パールの正しい使い方」

ぜひ、お手にとってみてはいかがでしょうか。

次年度は、節目の第10回大会を開催予定です。多くの方の参加をお待ちしています。



ビブリオバトル公式ルール

- ① 発表者が面白いと思った本を持って集まる。
- ② 順番に1人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表後に参加者全員でその発表に関する質問を行う。(2～3分)
- ④ 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。



<県中学生の発表>



<集合写真>



社教 topics ～ウェルビーイング?～



「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること(ウェルビーイング: well-being)をいいます」

従来の健康が身体的に良好な状態を表す狭義の概念であるのに対し、Well-beingは身体的・精神的・社会的にも良好な状態と、より広い概念を表していて、また「状態」としていることから一時的・瞬間的に良好かどうかではなく、持続的に良好であるとしていることがその特徴です。一方で、幸せと訳されることの多い「Happiness」は一時的・瞬間的な、精神的な面での幸せを表します。Well-beingはこのHappinessを包み込むような一段大きな概念です。



○生涯学習: 職業や生活に必要な知識を身につけ自己実現を図るためのもの。他者との学び合い・教え合いにより豊かな学びにつながるもの。

○社会教育: 学びを通じて「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生み、持続的な地域コミュニティを支える基盤となるもの。

生涯学習を通じた個人の成長と持続的な地域コミュニティを支える社会教育は、ウェルビーイングの実現に密接不可分とされています。

発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488

HP: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>

福島県
教育委員会
公式 note

